

左義長をもっと知りたい!

国指定重要無形民俗文化財「左義長を訪ねる」

～左義長ゆかりの道祖神を巡る～ガイドツアー

江戸時代から連綿と続いている大磯下町の伝統行事「左義長」に深いゆかりを持つ道祖神を巡りながら、左義長の歴史を紐解き、北浜海岸の左義長会場へご案内します。  
夜空を焦がす火柱に厄を落とし、1年の幸せを祈る大磯の風物詩を堪能できるガイドツアーです。

web  
事前申込制

1月14日(日) 15:30 集合  
大磯駅前よりツアースタート



大磯駅前南広場～坂下～浜之町～大泊～子之神～津波避難タワー～中宿～浅間町～大北～山王町～長者町～北浜海岸サイト広場  
所要時間: 約2時間30分 (約3キロ)

参加  
申込

お一人様 500円 (保険代、資料代含む)

主催 NPO 法人 大磯ガイド協会

申込 <https://www.oisoguide.com/>



左義長を応援!

左義長保存支援募金

大磯の左義長保存支援募金にご協力をお願いします。  
500円以上のご寄付で、家内安全・無病息災・商売繁盛祈願の木札を進呈いたします。  
※ 諸費用を除いた支援金を「左義長保存会」に寄付いたします。



左義長木札

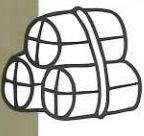
大磯のお寺「東光院」にてご祈祷をして頂いた木札です。

募金場所: 大磯町観光案内所ほか、大磯町内各所

※ 募金場所一覧は大磯だいき倶楽部ホームページをご覧ください

主催 NPO 法人 大磯だいき倶楽部

<https://www.oiso-odc.com/>



左義長を応援!

清酒「大磯左義長」販売

取扱店: 大磯町内の酒販売店



富士山の抱く清らかな伏流水を用い丁寧に仕込まれた大磯限定の酒です。  
1本につき200円が「大磯左義長保存会」に寄附されます。

清酒「大磯左義長」 1,980円 (税込)



左義長を応援!

左義長 立ち寄り処

1月14日(日) 15:00~  
ファミリーマート大磯店駐車場  
国道1号線「大磯駅入り口」信号角



お団子販売や左義長木札の募金活動など  
主催 NPO 法人 大磯だいき倶楽部

※ 内容は変更になる場合もあります。詳しくは主催者HPへ

左義長を撮って投稿しよう!  
おいでまち Instagram  
観光フォトコンテスト

期間 2023年9月23日(土祝)~2024年1月31日(水)  
最優秀書1名 賞金30,000円 ほか各賞あり

※ 詳しい募集要項は観光協会ホームページへ

左義長撮影のポイント フォトグラファー  
石田美菜子さんに聞きました!

浜へ行く途中、大磯左義長独特の「道切り」や「お仮屋」  
民家の軒先飾りなど祭り気分を盛り上げるポイントをチェック!

暮れゆくころ、9基のサイトが浜に立ち並ぶ姿は圧巻!

祭りのピークはふんどし姿の男達によるヤンナゴッコ。  
近くで撮るなら膝までの長靴があるとGOOD!

Instagramで  
大磯町観光協会の  
公式アカウントを  
フォロー!  
oisokanko\_promo



ハッシュタグ  
#大磯フォトコン2023  
をつけて  
Instagramに投稿!



公益社団法人 大磯町観光協会 <https://www.oiso-kankou.or.jp/>

神奈川県中郡大磯町大磯 878-1 TEL 0463-61-3300 (9:00~17:00)



Sagicho Oiso

# 大磯の左義長

国指定重要無形民俗文化財



©2023 Photographer Minako Ishida

大磯北浜海岸 令和6年1月14日(日) 18:30 点火予定



# 大磯の左義長のあらし

大磯の中でも下町といわれる北浜海岸沿いの9地区において、古くから続く小正月（1月15日前後）に、家内安全、無病息災を願って行われるセエノカミサン（道祖神）の壮大な火祭です。

正月飾りを集めた高さ7～8mのサイトに、その年の恵の方角から一斉に点火され、その壮観さは夜空を焦がすがごとくです。竹の竿に取り付けた針金挿ししただんごを、サイトの火で焼きます。「大磯の左義長」は国指定の重要無形民俗文化財です。

イチバン ムスコ

## 一番息子 12月8日 坂下

大磯の左義長は前年の事八日といわれる12月8日の「一番息子」という行事から始まります。セエノカミサンの祠に置かれているゴロ石と呼ばれる真ん中がくびれた石に縄をつけ、子どもたちが家々を巡り、「〇〇さんにいいお嫁さんが来ますように、いちばんむすこ」などと家人に頼まれた願いを唱えながら先で石を地面にドンドンと打ちつけ、賽銭（さいせん）をもらいます。この賽銭で子供達は風邪をひかないよう豆腐を食べるといって厄災招福の行事です。地元ではこれが正月行事の始まりだといわれています。



ごろ石は男子が生まれたり、大人になると考えられていた7歳に、健やかな成長を願って道祖神に奉納する石で、かつては蚕の繭形に中央を削った石を祠近くの土中に埋めました。地面を打つのは魔除けの意味もあり、事八日に訪れるといわれる「目一つ小僧」を追い払う行事でもあるよ。豆腐を食べるのも「豆粒」（まめつぶ）が「磨滅」（まめつ）に通じると考えられていたからでしょう。



ミチキリ

## 道切り

下町通りでは、隣の地区と堺の辻に、幣束と大根を挿した注連縄（シメナワ）を張り「みちきり」をします。みちきり提灯（チョウテン）も飾られます。山王町、大北地区にはありません。



各町の境を表示するもので、いわゆる悪魔祓いのおまじないです。

ナナトコマイリ

オカリヤ

## 七所参り・お仮屋

かつて、松の内（1月7日）が過ぎると子供達は正月のお飾りを集めに歩き回りました。8日に下町通りに木造の組立式のセエノカミサンのお仮屋が作られ、子供達が籠ります。あげられた賽銭は子ども達の小遣いとなります。地元の人たちはセエノカミサンにお参りして歩きます。特にセケ所に参ることを七所参りといいます。今日ではセケ所から一つ増えて「七所参って八所（ヤアトコ）せ」などとはやします。



左義長の日、全世帯に「あかまんま」ってささげで色をつけたおむすびを配ったもんだよ。



町内によっては商売繁盛を願う「オカリコ」という行事が行われます。1月11日～13日

- ① 坂下（さかした）
- ② 浜之町（はまのちょう）
- ③ 大泊（おおどまり）
- ④ 子の神（ねのかみ）
- ⑤ 中宿（なかじゅく）
- ⑥ 浅間町（せんげんちょう）
- ⑦ 大北（おおきた）
- ⑧ 長者町（ちょうじゃまち）

1月11日～1月13日 9:00～21:00  
② 浜之町は14日16:00まで飾りがあります。

# セイトバレエ

北浜海岸に左義長当日9基のサイトが建てられます。尖端から大穂竹（おんべ竹）が突き出し、その穂先に書初めや輪飾りや極彩色のいろいろなものや浜風に音をたてたなびき、周囲にはご用済みのだるまや神社のお札などが差し込まれて、まさに奇観です。その年の恵の方角が火の点け口となり18時30分頃に一斉に点火されます。



お仮屋

- ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

× 道切り

▲ サイト ※「北浜海岸」へは大磯駅から徒歩10分

0 100 250 500m



昔はほとんどの家で門松を立てたからサイトの材料に困ることはなく、藁（わら）が燃えた後にはお飾りが顔をだしたもんだ。今は材料集めに苦労するよ。燃やした書初めが高く舞い上がると腕が上がるなどといわれているよ。松の燃え炭を屋根に載せておくと「火災除けのまじない」になるといわれ、持ち帰ったもんだ。



# ヤンナゴッコ

サイトの燃え上がった炎がオンベ竹に届き始めると、四方に張られたオンベ網が外され、恵の方角に倒されます。その頃になると、子の神、大北、長者町の3か所のサイトの海側では、禪姿（ふんどしすがた）の若い衆が伊勢音頭（左義長音頭）を唄いながら火の周りに集まり、「ヤンナゴッコ」と呼ばれる綱引きが始まります。ソリ型の台に乗せた悪霊、疫病神（ヤクビョウガミ）が押し込まれている藁縄で編まれた「仮宮」を海に引き入れ、浜方と陸方との引き合いが行われます。3回引き合いを繰り返すと岸で「仮宮」は踏み潰され壊され、疫病神を退治します。



海に入る浜方の若衆は魚であると言われていて、それを引き上げ豊漁を願うため、必ず陸方が勝ちますよ。

シマザキ トウソン

## 島崎藤村と大磯の左義長

島崎藤村は、大磯に伝承されてきた民俗行事の大磯の左義長に心動かされ、日ごろ敬慕する西行法師の面影を伝える鳴立庵や茶室如庵（のちに犬山市へ移された）など、数々の好条件に心引きつけられて大磯に移り住みました。島崎藤村の墓は、「地福寺」にあります。



## 左義長はいつ行うもの？ 左義長こよみ

左義長の日程は、年により変動します。一番息子・左義長の日程が平日の場合、その前の祝日に行われる場合が多く、左義長の前3日間が七所参りとなります。

12月	1月
8日 事八日	11日 鏡開き
28日 すず払い	12日 初夢・書初め
30日 正月飾り	13日
31日 大晦日	14日
	15日 小豆粥
	7日 七草粥

※ 2024年はこよみ通りの日程での開催となります